

特集

愛着のある 住まいづくり

スタイルや
デザインで考える



住まいるニュースでは、暮らしに役立つ話題をご紹介します！
今回は、長く愛着をもてる家づくりについて考えます。

将来に渡って家族と楽しく暮らせるよう、家をつくるなら時が経っても色あせず味わいが深まることが理想です。内外装や素材、住宅のスタイルは多種多様で、どう決めて行けば良いか迷う方も多いのではないのでしょうか。今回は住宅のデザインを通じて、先々まで愛着を持って暮らせる家づくりのヒントを取り上げたいと思います。

●住宅のスタイルは多種多様、 家族との相性をよく考えて

和風・洋風にとどまらず、装飾を排したシンプルでモダンな住宅やアーリーアメリカン風、または南欧風など、近年では住宅メーカーや工務店でも様々な住宅を手掛けるようになってきました。住宅のスタイルを決めることは統一感ある家づくりのために大切なことですが、まずは家族との相性から考えることが大切です。家は家族を包む器であり、全員が心地よく感じられるかを最優先

しましょう。例えばシンプルなインテリアが心地良いか／物足りなく感じるか、温もりある素材感が落ち着くか／やや重く感じるかなど、家族の中でも感じ方が分かれるかもしれません。全体の方向性を決めるのと同時に、それだけに捉われず家族の要望を叶えていくのは設計者の腕の見せどころです。

流行や好みは家そのものではなく、家具や壁面などで演出するという発想もあります。布の素材や花などで季節ごとに違った配色を取り入れていくのも素敵ですね。

最近では和風を取り入れながら現代的な生活感にフィットした「和モダン」にも人気が集まっています。スタイルはあくまで家族の日常生活を基本に検討しましょう。

外観も愛着をもてる家づくりの重要な要素です。注文住宅ではデザインを自由に決められるだけに、品格や統一感のあるファサード(家の正面)を意識したいところ。外壁材は色柄豊富な窯業系サイディングが主流

で、タイルや木の質感のものまで様々な選択肢があります。全体像を図面やシミュレーションで確認すると同時に、素材は内外装とも実際に見ておくことと竣工後の満足度にも繋がるでしょう(「下記：納得ノート」参照)。

●自由なデザインを実現するのは 住宅の基本性能があつてこそ

家づくりのプロセスでは様々なアイデアが生まれますが、時には居住環境やメンテナンスなどの性能面がデザインやプランニングの制約になることもあります。家全体が四季を通じて快適であることが保証されていれば、アイデアの幅も大きく広がるもの。「FPの家」では優れた基本性能はそのままに、全国の工務店が様々なスタイルの住宅を手掛けています。「FPの家」のウェブサイトではデザイン集のページもありますので、我が家にあったスタイルを考える際の参考にしてみてはいかがでしょうか。

なるほど！

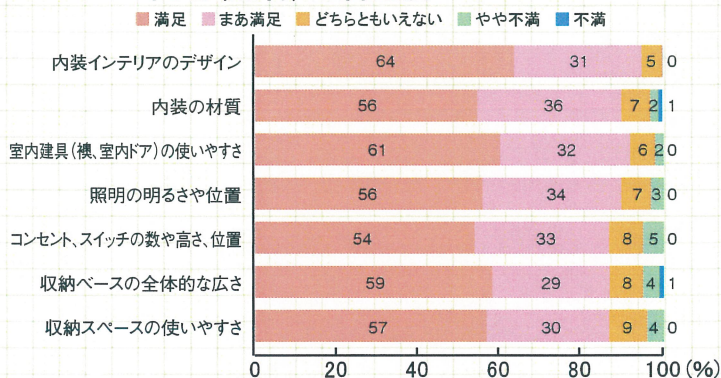
納得ノート

今月のテーマ

住宅の内装への満足度は？

右のグラフでは建物内部についての住宅の満足度を示しています。内装に関してはインテリアのデザインに比べ、材質の満足度がやや低くなっています。住宅のデザインを決める過程では見た目だけでなく、サンプルなどを通じて実際の素材の質感を把握しておくことが大切です。

住宅(建物)の満足度(建物内部について)



出典：住宅産業協議会「平成25年度住宅・住宅設備に関するCSアンケート調査」

家づくりの 知恵袋



今月のテーマ

体感温度と住環境

室温計を見ると十分な温度なのに「なんとなく寒い」という経験はありませんか？これは室温と体感温度との差から生じるもので、室温はその場所の温度を表示しているのに対し、体感温度は湿度による影響や周囲にある床や壁・窓の表面温度と室温の平均値に左右されます。そのため快適な体感温度を保つには湿度調整や室温を上げるだけでなく、床や壁・窓などの断熱化で表面温度を上げ、室温とのギャップを小さくすることが有効です。特に重要なのが足の裏で直に接する床面。足元を温めて頭の温度を低くするのが健康に良いとされる「頭寒足熱」は、住環境においても見逃せないポイントです。

我が家のお悩み診断

Dr. 住まいる

今月のご相談

Q. ファンヒーターのお手入れ

ファンヒーターに詰まったホコリ。どうやったら上手に掃除できますか？

A. ファンヒーターに溜まったホコリは暖房効率を下げる原因にもなります。掃除機でもきれいにホコリが取れない場合は水洗いがおすすめ。フィルターを外したら本体側は掃除機でホコリを吸い取り、水洗いして乾かしたフィルターを元に戻して完了です。お手入れは月1回が理想です。

聞いて納得!
暮らしの

アイデア

今月のアイデア

鍋と直火でご飯を炊く

鍋でご飯を炊くのはコツを覚えれば簡単。お米を研いだら夏は30分、冬は1時間水に浸します。その後水を切り、お米と同量の水と一緒に鍋を火にかけましょう。沸騰したらそのまま2分同じ火加減で。その後火を少し落として3分、さらに弱火で5～7分。炊きあがったら10分蒸らしてできあがり。「おこげ」も美味しく食べられますよ。



おうちで気軽に始めよう

住まいる

風水



今月のテーマ

節分と家の厄払い

節分は陰陽道で冬と春の境界線にあたり、季節が定まらず鬼が出る忌日であることから古来より厄払いの行事が行われてきました。豆まきは「豆＝魔滅」に通じることが由来。イワシを焼いた頭と柊のトゲでつくる焼嗅(やいかがし)は、尖ったものや臭いが嫌いな鬼を玄関先で防ぐ意味があります。

豆まきの「鬼は外」では玄関と窓を開け、奥の部屋から玄関へ順番に撒くことで鬼を追い出します。「福は内」は鬼が戻らないよう窓を閉めてから。また地域によっても様々な風習の違いがあります。散らかっている部屋は豆を撒いても厄払いの効果がないため、事前に家の掃除を済ませておくのを忘れずに。